

本島通信

本島大教会 春季大祭神殿講話 (要旨)

【立教188年1月22日】

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R.250125-0128-18
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島詰所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)

<https://www.honjima.com>
 Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間
 [2月1日~2月15日]
 朝づとめ 午前6時45分
 夕づとめ 午後6時15分
 [2月16日~3月31日]
 朝づとめ 午前6時45分
 夕づとめ 午後6時30分

ひと言の声掛けから、 教祖の御心を伝えよう

本島大教会長 かたやまかんた
片山幹太

立教188年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。

今日は大変結構なお天気に恵まれました。年祭活動の3年目、親神様から温かいお仕込みを賜っているよ



うに感じられます。

片山よ志多前会長様は23年間にわたり、本部教祖殿で御用一条にお勤め下さいました。これまでは大教会の記念祭や歴代会長の年祭以外、大教会へ帰ってくることはありませんでしたが、ようやく自由な時間を頂けるようになり、今後は大教会の祭典もお勤め下さることが多くなると思います。ありがたいことです。おちばでは前会長様と一緒に朝づとめ参拝に行きます。親子でいろいろ会話を楽しんでいきます。

かぐらづとめの理を思案しますと、会話はかしこねのみこと様、人間身

の内息吹き分け、世界では風の守護の理になります。

他の動物、例えばイルカやシャチなども何らかの会話でコミュニケーションを取っているとされていますが、人間が最も複雑な会話を用いて、喜び合い、楽しませ合い、笑い合うことができる。それらは親神様の十全のご守護の一つである、かしこねのみこと様の御理です。

もう一つ思案を加えてみますと、もたりののみこと様は人間身の内温み、世界では火の守護の理を下さいます。かぐらづとめでは、をもたりののみこと様の御面には三つの尾が伸びていて、その一つがかしこねのみこと様の右手に結ばれています。このことから、会話をするときには温みのある言葉を使うよう心がけることが親神様の思召に通じることだと思案することができます。

さて親神様のご守護について、中山善衛三代真柱様が「親神様の守護」という歌を作詞作曲くださっていますが、この歌詞からも悟ることができます。

1番の歌詞は昔、元初まりの守護について。

2番の歌詞は今、かしもの・かりもの守護について。

3番の歌詞は未来、末代の守護について。

一度、一緒に歌ってみたいと思います。

親神様の守護

一、その昔 その昔 元初め

親神様は 人間お創り

道具衆引き寄せ 動きを教え

天地を固め 世界を造り

万物に 生命を授け

成人を 成人を 守護

二、日々に 日々に へだてなく

親神様は 身の内お守り

目で物を見せ 耳で理を聴き

鼻でかぎわけ 口でかみわけ

手で働かせ 足で運ばせ

自由の 自由の 守護

三、どこまでも どこまでも

いつまでも

親神様は いちれつお育て

親が子となり 子が親となり

長の年月 変わることもなく

立毛を与え 自然を恵み

末代の 末代の 守護

ありがとうございました。

親神様と人間は親と子の関係になります。

例えば1番の歌詞は「その昔その昔」と始まりますが、親神様は人間を創造される上で9億年以上前から段取りを下さっているということ。

そして2番では「日々に日々に」と、今この瞬間も私たちが陽気ぐらしを味わえるように、身の内の働きはすべて親神様が引き受けて下さっている。ですから私たちは日々、親神様のご守護を感謝しながら通らせて頂きたい。気づくことよって感謝も大きくなるように思います。

最後に3番では、「どこまでもどこまでも いつまでも」と、私たちの先を見通して、先回りして、私たち子供ができるだけ危険な道に進まぬよう、転ばぬよう、私たちを見守って下さっています。

その親神様のご守護を、ようほくとして心に納めながら歩ませて頂くことが、成人の歩みにつながると思っています。

教祖は50年かけて、御自ら身をもつてお通り下さり、親神様のご守護と御教えをお教え下さいました。

大教会参拝場の南側には、6年前から「教祖のひながたを辿る」との垂

れ幕を掲げております。このたび新たに「教祖の御心を伝えよう」との垂れ幕を掲げました。

この1年間、親神様のご守護について、多くの方に伝えていこう。教祖のたすけ、一条の御心を伝える努力をさせて頂くとうの思いからです。

おさしづに、
「この人になをいを掛けんならんと
と思えば、道の辻で会うても掛け
てくれ。これからこれが仕事や。」
(明治40年4月7日)

宮森先生は神殿講話で「チャンス
を逃すな」とお話くださいました。

この人に教えを伝えたい、助かっ
てもらいたいとピーンと来た人に、
一歩踏み出せるかどうか、これが年
祭活動、成人の歩みの踏ん張り所だ
と思います。

おさしづでは「道の辻でも」とあり
ますが、道の辻とは「人々が行き来
する道筋、街道」とあります。この
場合「どこでも」という意味です。

この人を助けなくては、声をかけ
なくては、と思つたら、どこでも、
素直に一歩を踏み出せるようになり
たい。神様にお働き頂きたい。神様
のお働きを感じてもらいたい。こう

思える歩みをさせて頂きたいと思
います。

宮森先生の信仰の元一日に当たる
岡田与之助先生のお話が逸話篇にあ
りますので、少しご紹介させて頂き
ます。

「明治七年、岡田与之助(註、後の
宮森与三郎)十八才の時、腕の疼
きが激しく、あちこちと医者を替
えたが、一向に快方へ向かわず、
昼も夜も夜具にもたれて苦しんで
いた。それを見て、三輪へ嫁いで
いた姉のワサが、『一遍、庄屋敷
へやらしてもらおうたら、どうや。』
と、にをいをかけてくれた。」
(稿本天理教祖伝逸話篇四〇「ここに居いや
より」)

とあります。
このお姉さんの一言から、与之助
はお屋敷へ帰らせて頂き、教祖にお
目通りし、教祖から

「与之助さん、ここに居いや。」
と仰せ頂いて、その後ずつとお屋敷
の御用を勤めさせて頂くようになり
ました。

このお姉さんの一言、声かけがた
すかりにつながるのです。
また増井りん先生の逸話も一つご
紹介させて頂きます。

「明治七年十二月四日(陰曆十月
二十六日)朝、増井りんは、起き
上がろうとすると、不思議や両眼
が腫れ上がって、非常な痛みを感
じた。日に日に悪化し、医者に診
てもらおうと、ソコヒとのことであ
る。そこで、驚いて、医薬の手
を尽したが、とうとう失明してし
まった。夫になくなられてから二
年後のことである。

こうして、一家の者が非難の涙
にくれている時、年末年始の頃、
当時十二才の長男幾太郎が、竜田
へ行つて、道連れになつた人から、
『大和庄屋敷の天竜さんは、何ん
でもよく救けて下さる。三日三夜
の祈祷で救かる。』という話を聞
いてもどつた。」
(稿本天理教祖伝逸話篇二六「定めた心」より)

とあります。
これもまた、たまたま道連れに
なつた人から「大和庄屋敷の天竜さ
ん」というキーワードを耳にする。

天理さんではないのです。そんな情
報から、おぢばへ代参して教えの角
目を書いてもらつて、堅い心定めか
ら不思議なご守護を頂くことになり
ました。

教えがすべて分かつていなくても、

まずはおぢばへ、教祖の元へ足を運び、そこで親の教えを心に治める。これがまず大事なのだと、この逸話から私は悟ることができました。

先述のおさしづの最後は、「これからこれが仕事や」とあります。

私たちは、よくの大事な御用、仕事は、これなのだと思えます。「おぢばへ、天理へ一緒に帰りましょう」という声かけをさせて頂きましよう。

さて今年の1月4日、真柱様から「年頭あいさつ」を頂戴しました。

お言葉では、「論達は、全教が心をそろえて年祭に向かつて歩むために出したものがあります。みんな一手一つとなつて、たすけ一条に邁進する姿をもって教祖にご安心いただき、お喜びいただきたいという気持ちであったのであります。

一手一つというのは、一つの目的に向かつて、それぞれが自分の与えられた立場の務めをしっかりと果たすことによつてご守護いただける姿といふことができるかと思ひます。本当に一手一つになれば、自分一人では出ない力を与えていただくことが

できるでしょう。また、自分一人では味わうことのできない喜びを味わせていただくことができると思うのであります。その一手一つになるためには、まず一人ひとりが教祖の思召に心を合わせることであります。すなわち、神一条になることであります。

長様のお声に沿つて、親神様・教祖に喜んでいただきたいと思ひます。そのためにも、本島大教会では「にいがけ名簿」と「おさづけ取次報告」を毎月21日（4月は13日）に大教会にご報告いただき、夕づとめ後にお願ひづとめを勤めさせていただきますので、ぜひ団参に向かつてご報告をお願いします。

最後に本島に野生のイノシシが繁殖し、大教会の境内地にもよく現れるようになりました。私たちは年祭に向かつて、脇目もふらず、猪突猛進させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

と、お言葉にあります。（明治31年10月2日）
神は心に乗りて働く。心さえしっかりすれば、神が自由自在に心に乗りて働く程に。
心構えとして、これから「教祖の御心を伝えよう」。そして伝えていく心構えとして、一手一つに心をそろえる。皆で足を踏み出していこうという気持ちを持たせていただくこと。そのためには神一条になることが大事だということです。

年祭活動の3年目、以上の心で年祭を目指して努めさせていただきますと思ひます。

最後に「斯道会別席団参」についてお話しします。
今年、5月25日と11月30日に行われる「斯道会別席団参」に力を入れて行きたいと思ひます。河原町大教会

最後に「斯道会別席団参」についてお話しします。
今年、5月25日と11月30日に行われる「斯道会別席団参」に力を入れて行きたいと思ひます。河原町大教会

教祖140年祭活動

ス道会 別席団参

立教188年 / 2025年

5.25 and 11.30 SUNDAY

さあ、年祭活動 仕上げの年
ご存命の教祖に
お喜びいただこう

別席団参にお連れしたい人、なか

（文責・本島通信編集室）

春季大祭祭典役割

春季大祭祭文

立教百八十八年一月二十二日

献饗長 井上哲
伝 供 平井真治郎・向所隆文・永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・高垣光治・雲庵春彦・片山直明・蒼屋原良昭・横山正次・高島栄造・長尾海和・白垣初生・岩橋秀一・長瀨充憲・

田中丸勝也・宮路和徳・橋口徹・村田輝夫・大西剛・古井信・上山康雄・川村吉夫・溝口晋太郎・木村大喜・江萱克二
雅楽奉仕者 文岡育則・池田恒治・伊東賢太郎・内橋和博・鎌田康典・白垣俊生(順不同)

神殿講話	大教会長	胡 三 小 太 拍 ち 味 琴 り が 子 ゃ 弓 線 鼓 ね 鼓 木 ん 池 片 片 窪 岡 岩 寺 西 井 田 山 山 田 崎 橋 本 山 上 さ 山 や や 八 橋 教 道 哲 わ 榮 す 明 十 造 生 教 教 み 榮 丞 明 則 造 生 教 教	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	
		大西 知	老木邦光	老木邦光	伊東康成	
		厩 者	岡崎八十則	賛 者	横関茂治	
地 方	老木邦光 齊藤カーレン 平井真治郎	大上道徳 原口 実 片山直明	宮路和徳	雲庵春彦 長尾海和 古井 信 高垣洋子 上田敬子 佐藤道子	向所隆文 永島宗行 高垣光治 岡崎むつゑ 原口和子 伊東晴美	大教会長 岩橋慶三 長谷川邦昭 会長夫人 長尾澄子 片山孝代

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます

親神様には一れつ人間が陽気ぐらしをするのを見て共に楽しみたいとの思召からこの世人間をお創り下され約束の年限の到来と共に教祖をやしるにこの世の表にお現れになり世界たすけの御教えをお啓き下さいました

爾来永の年月変わることなき御守護のまにまに今日の成人にまでお導きお連れ通り下さいます御厚恩の程は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は御存命でお働き下さる教祖にお喜び頂きたいと届かぬながらも教祖百四十年祭に向けて各々が定めた目標達成に励ませて頂いておりますがその中にもこの月二十六日は教祖が子供の成人をお急ぎ込み下さる深い親心から二十五年先の定命をお縮めになり扉を開いて御存命のまま世界ろくぢに踏みならしにお出まし下された尊い月でございますので、ばの理に慣い只今から役目に与るおつとめ奉仕者一同心を一つに揃えて座りづとめ・てをどりを陽気に勇んでつとめさせて頂き春の大祭を執り行わせて頂きます御前には折からの寒さの中もいとわず国の内外から帰り集いました本島の道につながる一同が日頃賜る御恵と尽きせぬ親心に心から御礼申し上げ併せて教祖のひながたを目標に共におうたを唱和する状をも御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

入社祭

立教188年1月の入社祭はありませんでした。

私共をはじめ教会長よふばく信者一同は教祖百四十年祭に向う三年千日の仕上げの年にふさわしくそれぞれにお見せ頂く親神様の親心こもるふいしをしっかりと自覚して心の入れ替えに努め思召しにお応えさせて頂く所存でございます更に年祭活動としてお打ち出し下さいました「斯道会別席団参」には別席者と共に一人でも多くの方をおぢばに連れ帰らせて頂き御存命の教祖にお喜び頂きたいと決意致しております

尚この月二十五日には「教会長夫妻おたすけ推進の集い」をおぢばは本島詰所に於て開催させて頂き道の先達としての決意を心新たに誓い合わせて頂きます

親神様には何卒この真実をお受け取り下さいますしてよろづたすけの上には互いに立て合いたすけ合う一手一つの陽気ぐらしの世の状に一日も早く立て替わりますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます (原文のまま)

1月22日(水) 【香川県丸亀市】

天候 晴

最低気温 3.2℃

最高気温 13.2℃

平均気圧 1022.8hPa

平均湿度 70%

平均風速 1.8m/s

日照時間 9.0時間

降水量 0.0mm

教祖140年祭 教会長夫妻おたすけ推進のつどい

年祭活動3年目の始まりにあたり、本島大教会では「教会長夫妻おたすけ推進のつどい」を1月25日午後1時より本島詰所4階講堂にて開催し、道の先達である教会長夫妻ら100名が参加しました。

今年「斯道会別席団参」が実施されることから、斯道会の祖となる深谷源次郎・河原町大教会初代会長様のDVD「けっこう源さん」を視聴。

続いて挨拶に立った大教会長は「深谷源次郎先生は3つの喜ぶことをお示してください。①何でも与えを喜ぶ。②喜び難いことを喜ぶ。③喜ばないことを喜ぶ。今年は斯道会別席団参を目指して成人させていたただきたいです。親神様、教祖、ちば一つを日々思い続ける心で、一年を歩ませて頂きましょう」と述べられました。

続いて「おたすけワークショップ」を12班に分かれ、熱心に意見交換を行いました。ワークワークショップは従来の練り合い形式と異なり、参加者一人ひとりが気軽に発言し、さまざまな立場からの意見に触れられるよう工夫し、好評でした。

さらにひのきしんとして、詰所の窓拭き、ベランダ掃除、トイレ掃除、階段カーペットゴミ取りなどに分かれて、詰所館内をきれいにしました。

最後に全員で夕づとめ参拝に向かい、三年千日の仕上げをスタートさせました。



鼓笛隊 第49回北海道地区冬季合宿

本島

本島 団鼓笛隊(佐藤道子部長)では、1月11日から13日の日程で、本室分教会(西山道教会長、北海道室蘭市)を会場に、第49回北海道地区冬季合宿を実施。隊員2名、高校生1名、リーダー3名、ひのきしん者7名が参加しました。



今年、室蘭市は積雪がほとんどなく、暖かくて過ごしやすいため、滞りなく開催することができました。おもにパート練習を行い、最終日の13日は神殿にて御供演奏を実施。「ショーのテーマ」マーチ3曲、「パレード・ザ・ホンジマ」を演奏しました。

閉講式では大教会長よりメッセージが届けられ、佐藤部長より「本島鼓笛隊のお誓いに『一手一つの和』がありま

す。鼓笛隊は親元を離れての合宿生活や練習を通して『一手一つの和』を実践し、人様と自分自身が共に大きな喜びを味わい、立派なようぶくに

なることを目指しています。合宿生活が終わっても一手一つを心がけていきましよう」と代読されました。なお指導員として、佐藤道子、奥村由多加の2名が派遣されました。

立教百八十八年元旦祭祭典役割

祭主 指図方	大教会長 片山 勲		座りづとめ	てをどり前半		てをどり後半	
	厚者	窪田靖明 横山正次		賛者	横山富明 横関茂治		
地方	片山 勲 横山正次 長尾海和	片山 勲 横山正次 上野道貞 上野 善	大教会長 窪田靖明 片山昇太 片山昇太 片山やすゑ 片山やすゑ 長尾澄子 長尾善絵	片山秀明 長尾大助 上野道貞 横山富明 長尾直太郎 片山昇太郎 片山昇太郎 片山やすゑ	片山秀明 長尾大助 上野道貞 横山富明 長尾直太郎 片山昇太郎 片山昇太郎 片山やすゑ	片山秀明 長尾大助 上野道貞 横山富明 長尾直太郎 片山昇太郎 片山昇太郎 片山やすゑ	
てをどり	片山 勲 長尾海和 片山昇太 片山昇太 片山やすゑ 片山やすゑ 長尾澄子 長尾善絵	片山 勲 横山富明 上野道貞 上野 善 横山富明 横関茂治 片山昇太 片山やすゑ	片山秀明 長尾大助 上野道貞 横山富明 長尾直太郎 片山昇太郎 片山昇太郎 片山やすゑ	片山秀明 長尾大助 上野道貞 横山富明 長尾直太郎 片山昇太郎 片山昇太郎 片山やすゑ	片山秀明 長尾大助 上野道貞 横山富明 長尾直太郎 片山昇太郎 片山昇太郎 片山やすゑ	片山秀明 長尾大助 上野道貞 横山富明 長尾直太郎 片山昇太郎 片山昇太郎 片山やすゑ	

青年会ひのきしん隊



青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、1月11日から13日にかけて、おやさとおしん青年会ひのきしん隊第933回隊に8名が入隊しました。岩室倉庫整理、西境内地の芝はがし、お墓地掃除などを行いました。

- ▼青年会ひのきしん隊参加者名簿
- ▼本米臺△内橋和博 ▼攝良△神前和博△香川靖幸△香川高範
- ▼攝津△鎌田康典 ▼本備前△伊東賢太郎 ▼本中國△篠原慶士
- ▼与島△岡崎八郎(計8名)

霊峰分教会遷座祭

霊峰分教会(宮路和徳会長・宮崎県都市)では、去る11月26日に神殿模様替及神殿屋根葺替願の理のお許しを戴きました。1月14日に大教会長を迎え(随行・向所隆文赤峰分教会長)お許しいただいた通り遷座祭を執り行い、親神様・教祖お目標様並びに祖霊様を同教会教職舎に設置した仮神床にご遷座申し上げました。

なお屋根葺替に当たって、帰参者全員が屋根瓦に各々の想いを墨書し、工事の無事を祈願しました。



青年会マンスリー隊

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、1月19日に第4回「帰ろうぜ!本島!マンスリー隊」を実施。11名が大教会に集まり、餅つき、名称旗台設営、名称旗作り、提灯吊るしなど大祭準備を行いました。



すき間のおはなし

若草山焼き 超穴場ポイント

「若草山焼き」は古都奈良の早春を告げる伝統行事。山全体が燃やされ、夜空を焦がす壮観さは圧巻です。さらに山焼き15分前からは奈良県最大級の天花火、数百発が若草山中腹から打ち上げられます。「尺玉」は玉の直径が約30センチ。筒から約330メートル打ち上がり、花火が開花したとき直径約160メートルにもなるそうです。

尺玉が彩り山を焼く。そんな下派手な風物詩を、筆者は写真におさめたいと挑戦しています。そこで問題は、どこから撮影するのか。一番に思いつくのは若草山山麓や奈良公園です。しかし見物客は10万人以上を数え、山焼きに近すぎるので落ち着いて見られないです。次に平城宮跡。約5キロ離れますが、太極殿と合わせた写真が撮れます。昨年は場所取りのため、3時間前に現場へ行きました。

山焼きは毎年1月の第4土曜日に開催と決まっていますが、今年は1月25日でした。おちばの春季大祭前日、さすがに何時間も前から場所取りに出かけるわけにはいきません。

そこで発見したのは、本島詰所北棟4階です。灯台もと暗し、若草山から約10キロ離れています。遮るものがないことに気づきました。そこで撮影したのが左の写真。30秒間のバルブ撮影した写真4枚を合成しました。そこで来年は1月24日です。教祖140年祭の2日前になります。皆さまも一緒にいかがですか? (むかいじよ)



事情はいつ

(立教188年1月26日)

本桶川分教会

任命願

新任教会長 田中宏教ひろのり

臨時祭典願

就任奉告祭 立教188年3月9日

文峰分教会

任命願

新任教会長 肥後 信まこと

臨時祭典願

就任奉告祭 立教188年2月8日

以上

おさづけの理拝戴

(立教187年12月分)

倉峰 初山友彩

【計1名】

証拠守り下附

(立教187年12月分)

赤峰 1

【計1名】

大教会長動向

▼2月(予定)▲

2日、あきよ志分教会年祭

3日、香川教区役職者会議

7日、教人資格講習会講師

8日、文峰分教会

会長就任奉告祭

9日、本部神殿奉仕当番

14日、本中國分教会巡教

15日、与島分教会巡教

16日、本亀分教会巡教

20日、天理教校専修科講義

22日、大教会月次祭執行

24日、修養科門出まなび

25日、かなめ委員会

25日、宮森先生おてなoshi

26日、本部月次祭参拝

27日、かなめ会

以上

をびや許し

(立教187年12月分)

本陽泉

赤峰 岩上めぐみ

肥後八峰 大野智香

【計3名】

布教部報告(1月分)

数字は本年の提出回数です。1月は全教会「1」となります。

統計(12月1日~31日)

教会名	初席	中席	きりぼ	修養科	教人講習	検定講習
本島		1				
本備前		1				
本与島		1				
本宣道		1				
本雅峰		1	1			
本倉峰						
本隅聖		1				
本鶴峰		1				
合計	0	7	1	0	0	0

にをいがけ名簿提出教会(1月)			おさづけ取次報告教会(1月)				
本島	1	本千代	1	本島	1	本新田	1
本樺太	1	本千賀	1	本樺太	1	本九台	1
本倉岡	1	本千治	1	本倉岡	1	赤峰	1
本樺	1	本千恵	1	本樺	1	雅峰	1
本室	1	本攝	1	本室	1	南峰	1
本渋谷	1	本吹田	1	本吹田	1	神峰	1
本代々木	1	本泉	1	本吹田	1	豪峰	1
本萬代	1	本太	1	本吹田	1	倉峰	1
本都	1	本萩	1	本吹田	1	大雄峰	1
本京	1	安藝本中	1	本吹田	1	雄福峰	1
本東	1	本備前	1	本吹田	1	雄山峰	1
本道盛	1	本府中	1	本吹田	1	栄森峰	1
本草	1	本浦	1	本吹田	1	栄星峰	1
本護	1	本龜	1	本吹田	1	栄東峰	1
本三	1	本徳	1	本吹田	1	霊峰	1
本恵	1	本高	1	本吹田	1	大隅聖峰	1
本恵明	1	本宣道	1	本吹田	1	大駿峰	1
本静濱	1	本九	1	本吹田	1	別峰	1
本静森	1	本小倉	1	本吹田	1	大英峰	1
本日米	1	本陽山	1	本吹田	1	肥後八峰	1
本浜	1	本肥港	1	本吹田	1	鶴峰	1
本米	1	本新田	1	本吹田	1	都峰	1
本米里	1	赤	1	本吹田	1	仙峰	1
本米浜	1			本吹田	1	ハリウッド	1
計71教会		637名		計73教会		1,729回	

ろくごま

(立教188年1月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇徳分教会 ▼本高△菅岡新 ▼安藝本中△池田こみち ▼ポートル△片山和信・陽子・昇慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

おねがい：本紙8頁「年間統計表」のうち、[別席の誓い]合計74名となっていますが、本島語所が把握しているのは71名で、残り3名の所属が不明となっています。お心当たりのある教会は本島通信編集室までお知らせ下さい。

年間統計表(教会別)

立教 187 年

教会名	別席の誓い	おさづけの戴	修養科修了	講習会修了	教人資格	講習会修了	教人資格	証拠守り	をびや許し	にをいかけ	取次報告回数	おさづけ	教会名	別席の誓い	おさづけの戴	修養科修了	講習会修了	教人資格	講習会修了	教人資格	証拠守り	をびや許し	にをいかけ	取次報告回数	おさづけ
本清保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	栄星峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	7	
本備前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	9	栄東峰	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	9	
本廣島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11	霊峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	
本迪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	4	實峰	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	4	
本府中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	11	10	大隅聖峰	1	-	-	-	-	-	-	-	-	11	10	
本中國	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	11	大松峰	-	-	-	1	1	1	-	-	-	9	11	
沖浦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	大駿峰	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	12	
馬木尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	別峰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	
本亀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	6	吉松峰	2	1	-	-	-	-	-	-	1	1	6	
本清水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	9	10	大英峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	10	
本崇徳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	12	11	5	文峰	-	-	1	-	-	1	-	-	-	11	5	
本与島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	9	12	肥後八峰	3	1	1	1	2	-	2	4	4	12	12	
本本廣	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4	4	銀峰	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	4	4
本本勇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7	11	新信峰	-	-	-	-	-	-	-	1	2	11	11	
本本高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	12	10	鶴峰	4	2	1	-	-	-	-	2	9	10	10	
本宣道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	-	善峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
阿波本徳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	11	都峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	11	
本阿波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	仙峰	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12	12	
本九倉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	-	ホノルル	2	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
本小倉	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4	7	-	ニュービギング	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本陽山	3	-	-	-	-	-	-	-	3	12	12	3	カカコ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本大和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	ラナイ	6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	
本本新郷	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	台檀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本九肥	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	キャッスル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本肥港	-	-	-	-	-	-	-	-	7	12	12	-	ヒロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本山陽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	マウイ	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	
本本千嘉	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	ワイルク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本新田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	11	-	ポートランド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本九台	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	7	-	エヌ・シー	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
本本豊後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウエスタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本肥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	マリーナ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
本赤峰	2	-	-	-	-	-	-	2	4	12	12	-	イリノイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本雅峰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	-	ミッドウエスト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
本南吉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	キャピタル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本神峰	4	-	-	-	-	-	-	-	-	9	5	-	サガバフィック	-	-	1	-	-	-	-	-	2	7		
本豪峰	6	3	-	-	-	-	-	-	-	7	5	-	シアトル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本倉峰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	-	ハリウッド	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9		
本栄峰	5	1	-	-	-	-	-	2	-	12	12	-	ウイルソン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
本雄峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	タミナル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本雄福	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	10	カリフォルニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
本雄山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	10	-	シートック	-	-	-	-	-	-	2	-	4	4		
本森峰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	7	10	-	本伯	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
栄	2	-	-	-	-	-	-	-	-	10	9	74	合計	33	11	3	4	19	33	104	104				

註：[にをいかけ名簿提出回数]の合計 104、[おさづけ取次報告回数]の合計 104 は、ともに提出教会数の合計です

立教 187年

年間統計表(教会別)

教会名	別席の誓い	おさづけの戴	修養科修了	教人資格修了	教長資格修了	証拠守り	をびや許し	名簿提出回数	にをいがけ	取次報告回数	おさづけ	教会名	別席の誓い	おさづけの戴	修養科修了	教人資格修了	教長資格修了	証拠守り	をびや許し	名簿提出回数	にをいがけ	取次報告回数	おさづけ
本島	5	2	2	-	-	-	1	6	12	12	本	本	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
本太	1	1	-	-	-	-	-	12	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本田	-	-	-	-	-	-	-	7	6	6	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
本倉	-	-	-	-	-	-	-	11	11	11	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12
本陸	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本奥	-	-	1	-	-	-	1	12	12	12	本	本	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
本樺	-	1	-	-	-	-	-	9	9	9	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本谷	-	-	-	-	-	-	-	9	8	8	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	10
本濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本幸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本幸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	吹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
本桶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	12
本宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
本東	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
本々	-	-	-	-	-	-	-	9	9	9	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本代	-	-	-	-	-	-	-	9	9	9	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
本都	2	2	-	-	-	-	2	11	10	10	本	本	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本京	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
本東	-	-	-	-	-	-	-	8	8	8	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本盛	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本草	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	本	本	-	1	1	-	-	-	-	-	5	-	12
本護	-	-	-	-	-	-	-	9	7	7	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	11
本治	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本三	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
本惠	-	-	-	-	-	1	1	12	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本山	1	-	-	-	-	-	-	-	9	9	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
本明	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本静	-	-	-	-	-	-	-	11	11	11	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本静	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本日	-	-	-	-	-	-	-	12	11	11	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本米	-	-	-	-	-	-	-	12	11	11	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本浜	-	1	-	-	-	-	-	9	10	10	本	本	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本米	-	-	-	-	-	-	-	10	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
本米	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
本米	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3
本米	-	-	-	-	-	-	-	10	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
本千	2	1	-	-	-	3	1	12	12	12	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
本千	-	1	1	-	-	-	-	7	10	10	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本千	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本千	-	-	-	-	-	-	-	10	9	9	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
本千	-	1	-	-	-	-	-	5	6	6	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
本盛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
本盛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	10
本平	-	-	-	-	-	-	-	2	8	8	本	本	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-



斯道会別席団参

【団参担当】

●日にち：5月25日(日)

「第一次帰参予定申込」について



●QRコードを読み取って、申込フォームから3月22日までご報告ください。

※この申込みは事前準備のため必要な情報となります。全教会必ず人数をお知らせ下さい。なお最終の「第二次帰参申込書」は3月22日に配布されます。

斯道会別席団参(本島)

- 別席の誓い：午前8時～午後3時
※初めて別席を運ばれる方は「初席前のお話」があります
- 別席受付時間：
午前席：午前8時～9時30分
午後席：正午～午後1時30分
- 記念講演(本島プログラム)
日時：午前10時～11時
会場：第二食堂
講師：渡辺道治先生
- お願いごとめ
日時：午前11時30分、東礼拝場
※おつとめは定時のおお願いごとめ(年祭の心定め)の完遂とご守護の祈念です。おつとめ終了後、解散となります。
- ※参加票は事前にご記入の上、当日の受付箱へご投函ください
- 参加御供：ひとり500円(高校生以上)教会ごとまとめて大教会へお届け下さい
- 前夜祭
日時：5月24日(土)午後7時～8時30分
会場：本島詰所4階講堂

<https://www.honjima.com/>

宮森先生おてなoshi

【おつとめ修練部】

- 日時：2月25日(火)午後3時より
- 会場：本島詰所4階講堂
※どなた様も受講できます。

鼓笛隊春季合宿

【本島団鼓笛隊】

第113回本島団鼓笛隊春季合宿

- ※今年は大教会で実施します
- 集合：3月28日(金)夕刻まで集合
- 解散：4月1日(火)朝解散
- 参加対象：令和7年度の小学1年生より高校3年生(幼稚園児不可)
※初めての隊員も参加できます
- 会場：本島大教会
- 参加御供：一律5000円(フェリー代含む)+送迎費2000円(片道・往復どちらでも)
- 内容：鼓笛練習、神殿前お供演奏
- 服装：練習着・帽子・ポシェット貸与。
※洗濯は28日～30日まで実施
- 携行品：健康保険証のコピー、トレーナーやパーカー2～3枚(練習着の下に着用します)、下着、靴下、パジャマ、タオル、洗面用具、入浴道具、常備薬、室内練習靴、楽譜、ファイフ(1000円で販売)、マスク
※ご自分の所持品が把握できないお子様のお荷物には名前の記入をお願いします
- 申込み：3月10日まで各分隊担当までご連絡ください。
- ご相談、ご質問は
佐藤道子(090-7570-4807)まで

春の学生おぢばがえり

【本島学生担当委員会】

立教188年春の学生おぢばがえり
～心をつなぎ輪になって、
喜びあふれる春学～

- 日程：
3月28日(金)午前10時(本部中庭)式典「真柱様お言葉(メッセージ)」式典後、直属アワー
3月27日(木)夕づとめ終了後前夜祭「春Fes」(東西泉水プール前広場)
- 連絡先：
雲庵春彦(090-2515-8039)
横関茂治(090-1138-1690)
※教区参加の方も直属アワー準備のため、事前にご連絡ください。

おやさと講演会

【教会本部】

- テーマ：
ひながたを目標にした教えの実践
- 日時：2月25日(火)午後4時15分より(所要時間：60分)
- 会場：第二食堂
- 講師：飯降力本部長
- 本島詰所より夕づとめ参拝を兼ねた送迎バスを運行する予定です

2月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：2月21日～22日
- 派遣教会：本廣

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：2月25日、26日
- 派遣教会：本清水、本勇

大教会2月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：2月22日大教会2月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：2月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。申込み後、自動返信メールが送られます。届かない場合は各自の迷惑メールフォルダをご確認ください。



青年会マンスリー隊

【青年会本島分会】

- おもに祭典準備ひのきしんを行います
- 実施日：立教188年(2025年)2月23日(日)、3月2日(日)

